

# いちごの輸出

(生鮮のもの)

門司税関の2015年輸出数量及び金額

全国第1位



平成28年3月17日

門 司 税 関

## 【はじめに】

春になるとあまいものが食べたくなりませんか。

3月は、いちごの美味しいシーズンです。一昔前のいちごと違い百貨店やスーパーでは、高級いちごがズラリと並んでいます。

一粒数万円もする高級いちごもあるようです。

日本のいちごは、海外でも人気が高く、福岡県では、訪日観光客の帰国日に合わせて検疫済みいちごを空港まで届ける取り組みも始まっています。

今回は、あまくて美味しい「いちご」の輸出にスポットを当ててみました。

【※いちご：輸出統計品目番号「0810.10-000」（ストロベリー（生鮮のものに限る））】

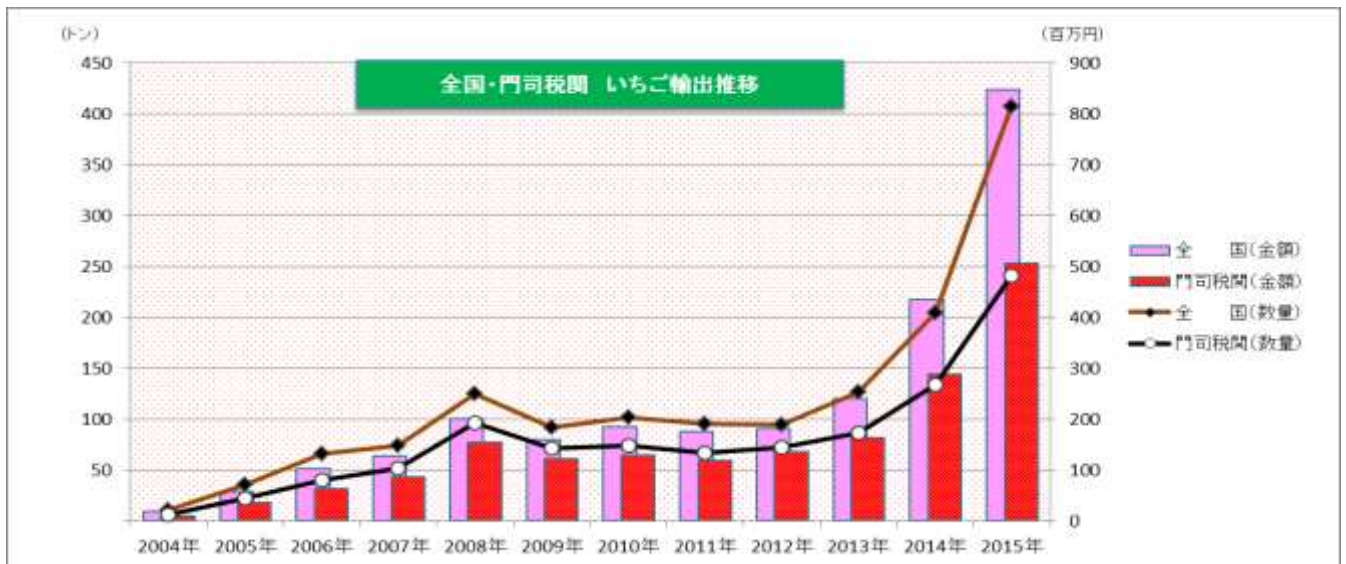


## 【輸出動向】

2015年の全国における「いちご」の輸出実績は、数量408トン（対前年比99.3%増）、金額は8億49百万円（対前年比94.9%増）でした。

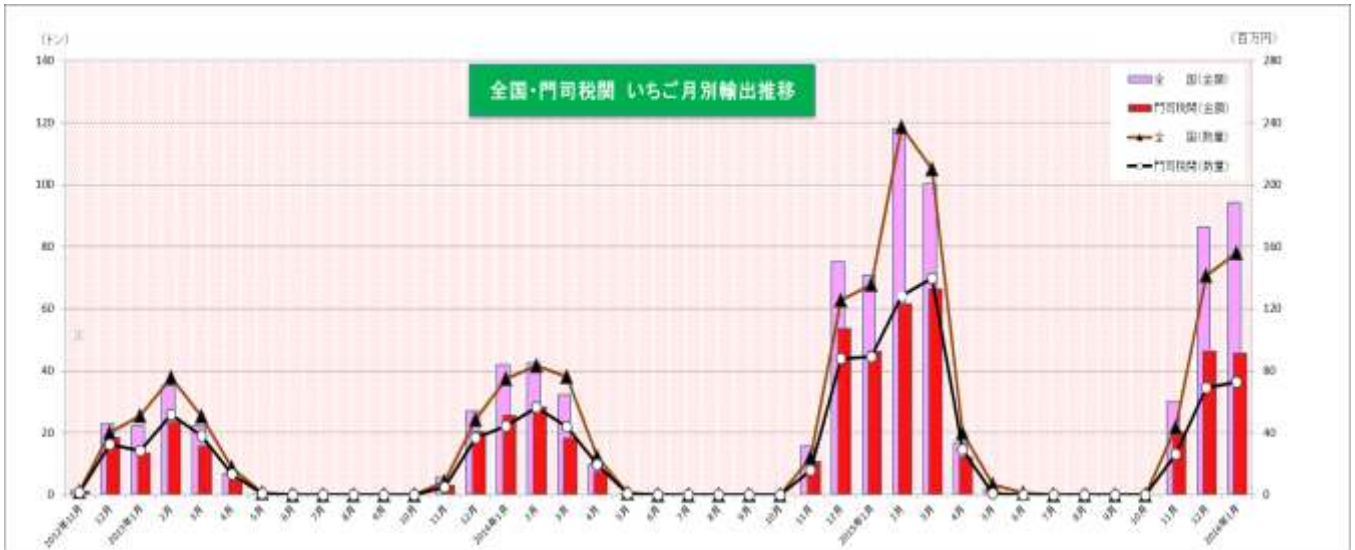
このうち、門司税関管内における輸出実績は、数量241トン（対前年比79.7%増）、金額は5億7百万円（対前年比75.7%増）となっています。

2009年から2012年まで全国及び門司税関ともに数量及び金額は、ほぼ横ばいでしたが、2013年から数量及び金額が増加し、2015年は、過去最高を記録しています。



## 【月別輸出動向】

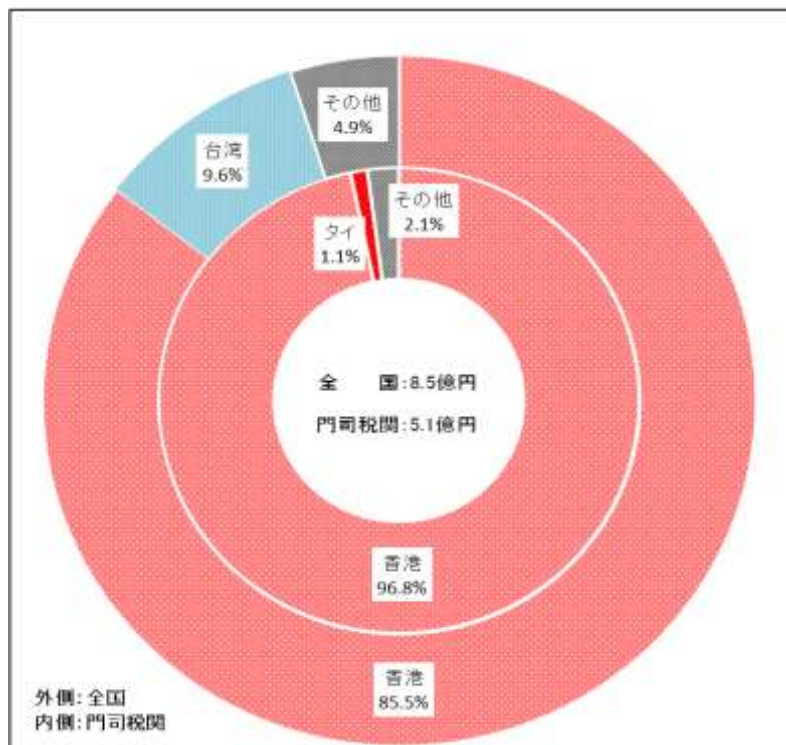
月別の輸出推移をみると、毎年11月頃から輸出が始まり、2月にピークを迎え、5月で一旦輸出が終わります。クリスマス、中国の春節に重なる12月から2月が、いちごの需要が一番高くなるようです。



## 【全国及び門司税関 国別シェア】

2015年の国別の金額シェアをみると、全国及び門司税関ともに香港が第1位となっており、門司税関においては、96.8%が香港への輸出となっています。輸出が香港に集中しているのは、関税フリー、検疫フリー（日本での輸出検査を受けずに輸出できる）等いちごの輸出環境が整っていることが、大きな要因となっているようです。

2015年 全国及び門司税関 国別金額シェア



## 【港別輸出推移】

2004年からの全国の港別の輸出推移をみると、2015年まで12年連続で数量・金額ともに福岡空港が第1位となっています。

いちごは、鮮度保持が重要なため、輸送時間が短い航空便で輸出されています。

福岡県産のいちごが多く輸出されているため、産地から近い福岡空港の輸出シェアが高くなっています。



## 【おわりに】

日本のいちごの認知度は海外で高くなってきましたが、業界では、

- ① 富裕層だけでなく、中間層向けのもっと手ごろな価格のいちごを供給する
- ② ジャパンブランドとして、日本のいちごを東南アジア以外の海外に広める
- ③ いちご単体ではなく、他の青果物と連携して販売していく

などが、今後、一層、いちごの輸出が伸びていく鍵になると見えています。

※ 本稿において、「過去最高」とは、検索が可能な1988年以降です。

※ 2004年～2015年の統計数値は確定値です。

※ 統計数値の単位未満は、四捨五入を行うため、総数の内訳の計が一致しない場合があります。

本資料についてのお問い合わせは  
関税課 調査部 調査統計課  
TEL 050-3530-8380  
<http://www.customs.go.jp/moji/>



【参考資料】

① 輸出推移（門司税関及び全国）

年	門 司 税 関						全 国					
	数量(KG)			金額(千円)			数量(KG)			金額(千円)		
		前年比	全国比		前年比	全国比		前年比		前年比		
2004年 (平成16年)	5,766	66.1%	55.2%	9,453	69.9%	50.8%	10,450	96.0%	18,625	105.5%		
2005年 (平成17年)	22,382	388.2%	63.1%	36,162	382.5%	62.9%	35,450	339.2%	57,503	308.7%		
2006年 (平成18年)	40,314	180.1%	61.0%	62,831	173.7%	60.8%	66,066	186.4%	103,308	179.7%		
2007年 (平成19年)	51,418	127.5%	69.7%	85,604	136.2%	67.6%	73,785	111.7%	126,668	122.6%		
2008年 (平成20年)	96,161	187.0%	77.0%	153,651	179.5%	76.6%	124,889	169.3%	200,578	158.3%		
2009年 (平成21年)	71,622	74.5%	78.3%	122,541	79.8%	77.0%	91,473	73.2%	159,161	79.4%		
2010年 (平成22年)	73,846	103.1%	72.5%	129,689	105.8%	70.0%	101,830	111.3%	185,330	116.4%		
2011年 (平成23年)	67,047	90.8%	70.4%	118,758	91.6%	67.2%	95,253	93.5%	176,602	95.3%		
2012年 (平成24年)	72,537	108.2%	76.6%	137,116	115.5%	75.5%	94,644	99.4%	181,611	102.8%		
2013年 (平成25年)	86,876	119.8%	68.6%	162,695	118.7%	67.9%	126,609	133.8%	239,517	131.9%		
2014年 (平成26年)	134,220	154.5%	65.6%	288,372	177.2%	66.2%	204,580	161.6%	435,585	181.9%		
2015年 (平成27年)	241,179	179.7%	59.2%	506,644	175.7%	59.7%	407,722	199.3%	848,938	194.9%		

② 月別輸出推移（門司税関及び全国）

年	月	門 司 税 関		全 国	
		数量(KG)	金額(千円)	数量(KG)	金額(千円)
2012年	11月	778	2,125	1,032	2,807
	12月	16,281	37,010	20,139	45,709
2013年	1月	14,261	27,099	25,521	44,620
	2月	25,966	47,115	37,848	70,438
	3月	18,939	31,429	25,352	44,386
	4月	6,589	9,893	8,765	13,536
	5月	303	462	635	1,045
	6月	-	-	-	-
	7月	-	-	-	-
	8月	-	-	-	-
	9月	-	-	-	-
	10月	-	-	-	-
	11月	2,370	6,100	4,317	11,260
	12月	18,448	40,597	24,171	54,232
2014年	1月	22,063	51,337	37,327	83,794
	2月	28,243	56,445	41,575	85,254
	3月	21,827	36,372	38,090	64,595
	4月	9,886	14,739	12,210	19,232
	5月	420	791	495	1,006
	6月	-	-	-	-
	7月	-	-	-	-
	8月	-	-	-	-
	9月	-	-	-	-
	10月	-	-	-	-
	11月	7,902	21,347	12,177	31,488
	12月	43,879	107,341	62,706	150,216
2015年	1月	44,569	92,703	67,830	141,609
	2月	64,169	123,124	118,648	236,009
	3月	69,913	132,679	104,979	200,551
	4月	14,522	24,219	20,076	33,721
	5月	320	555	3,234	3,736
	6月	-	-	522	739
	7月	-	-	-	-
	8月	-	-	-	-
	9月	-	-	-	-
	10月	-	-	-	-
	11月	13,184	40,615	21,758	59,963
	12月	34,502	92,749	70,675	172,610
2016年	1月	36,387	91,404	78,016	188,549



③ 門司税関 国別シェア（2015年）

国	門 司 税 関			
	数量(KG)		金額(千円)	
		構成比		構成比
世界	241,179	100.0%	506,644	100.0%
香港	235,086	97.5%	490,267	96.8%
タイ	1,928	0.8%	5,731	1.1%
台湾	1,824	0.8%	4,094	0.8%
シンガポール	1,332	0.6%	3,576	0.7%
その他	1,009	0.4%	2,976	0.6%



④ 全国 国別シェア（2015年）

国	全 国			
	数量(KG)		金額(千円)	
		構成比		構成比
世界	407,722	100.0%	848,938	100.0%
香港	351,738	86.3%	725,513	85.5%
台湾	39,506	9.7%	81,484	9.6%
シンガポール	8,444	2.1%	19,412	2.3%
タイ	6,254	1.5%	17,921	2.1%
その他	1,780	0.4%	4,608	0.5%



⑤ 港別輸出推移（金額）

年	福岡空港		関西空港		その他	
	金額(千円)	全国比	金額(千円)	全国比	金額(千円)	全国比
2004年	9,453	50.8%	555	3.0%	8,617	46.3%
2005年	36,162	62.9%	5,865	10.2%	15,476	26.9%
2006年	62,831	60.8%	35,194	34.1%	5,283	5.1%
2007年	85,604	67.6%	34,216	27.0%	6,848	5.4%
2008年	153,651	76.6%	30,610	15.3%	16,317	8.1%
2009年	122,541	77.0%	28,524	17.9%	8,096	5.1%
2010年	129,689	70.0%	52,192	28.2%	3,449	1.9%
2011年	118,758	67.2%	47,828	27.1%	10,016	5.7%
2012年	137,116	75.5%	39,209	21.6%	5,286	2.9%
2013年	162,695	67.9%	60,420	25.2%	16,402	6.8%
2014年	287,827	66.1%	103,722	23.8%	44,036	10.1%
2015年	503,920	59.4%	269,445	31.7%	75,573	8.9%

⑥ 港別輸出推移（数量）

年	福岡空港		関西空港		その他	
	数量(KG)	全国比	数量(KG)	全国比	数量(KG)	全国比
2004年	5,766	55.2%	258	2.5%	4,426	42.4%
2005年	22,382	63.1%	3,216	9.1%	9,852	27.8%
2006年	40,314	61.0%	21,777	33.0%	3,975	6.0%
2007年	51,418	69.7%	19,214	26.0%	3,153	4.3%
2008年	96,161	77.0%	19,543	15.6%	9,185	7.4%
2009年	71,622	78.3%	15,782	17.3%	4,069	4.4%
2010年	73,846	72.5%	26,056	25.6%	1,928	1.9%
2011年	67,047	70.4%	20,575	21.6%	7,631	8.0%
2012年	72,537	76.6%	19,750	20.9%	2,357	2.5%
2013年	86,876	68.6%	30,110	23.8%	9,623	7.6%
2014年	133,950	65.5%	50,095	24.5%	20,535	10.0%
2015年	239,238	58.7%	129,044	31.6%	39,440	9.7%





# いちごのお話



野生のイチゴは、石器時代からヨーロッパ、アジア一帯で食べられていましたが、現在のようなイチゴが栽培されはじめたのは200年ほど前のことです。南アメリカから持ち込まれた品種と、北アメリカから持ち込まれた品種が自然交雑したものといわれています。日本には、江戸時代の終わり頃に伝わりましたが、そのときには定着せず、その後明治32年頃にフランスの品種が導入されたことで本格的な栽培が始まりました。

イチゴといえば、かつては「女峰」や「とよのか」が主力品種でしたが、今は「とちおとめ」や「あまおう」「紅ほっぺ」などが主流。イチゴは10～20年くらいで世代交代が行われるため、次々に新しい品種が誕生しています。

(参考：果物情報サイト果物ナビ)

